

REPORT Paint



塗料

多様化するコンセプト商品 ユーザー層の拡大を図る 取り組みが活発化する

近年の塗料市場では、利用者層の拡大を踏まえた新しいニーズに対応する商品や、新しい利用シーンの提案を含むコンセプト商品が数多く生まれている。保護、補修といった従来のニーズに対応するだけではなく、より趣味的で、ライフスタイルを提案するタイプの商品が増えるトレンドにある。またメーカー各社が行うワークショップなどのイベントも活発化する傾向にあり、大きな成果をあげている例も多い。

(本誌・上明戸聰)

ワークショップなどの 体験型イベントで 「塗る」楽しさを発信

の向上に加え、よりスタイルシューなコンセプトを持つた商品や、扱いやすい容器の開発、安全性や環境対応を意識した商品などを次々と打ち出している。

市場が伸び悩む傾向にある中、新たな活用シーンが生まれてきている。

ひとつのガーデニングブームでも見られたように、こうしたトレンドは市場の主流にはならないとしても、市場全層に向けた製品開発やコミュニケーション戦略が活発化している。

こうしたアプローチは新しい需要層に向けて有効であるだけでなく、店頭においても低くしていく努力が求められている。

実際に塗装経験を持つ一部のユーザー以外にとっては、実際に用具を手に取り、塗装してみるまでには心理的な壁があり、うまく塗装するためにはちょっとした知識やコツも重要だ。これらを店頭から発信していくことで、新しいユーザーが感じる垣根を少しでも低くしていく努力が求められている。

**新しいニーズに
いち早く対応する
商品が続々と登場**

家庭用塗料市場では、「DIY女子」という言葉に象徴されるように、新しい需要者はならぬとしても、市場全層に向けた製品開発やコミュニケーション戦略が活発化している。

少子高齢化や、住宅需要の減少によって、塗料が役割を担う住居回りの塗り替え

の減少によって、塗料が役割を担う住居回りの塗り替え

い。こうした情勢を受けてメー

カーラ各社も、性能そのもの



JAPAN DIY HOME CENTER SHOW 2018における和信ペイントのブース。ワークショップに多くの参加者が殺到するなど、人気を集めた

木の風合いを生かす
独特のカラー
バリエーション

和信ペイントの「ウッドアトリエ」
は、女性のDIY心をくすぐる水性木部用塗料として登場。大きな注目を集めている。

和信ペイントの「ウッドアトリエ」は、女性のDIY心をくすぐる水性木部用塗料として登場。大きな注目を集めている。

「ソリッドカラー」(メインカラー12色)は、水性塗料の「エクステリアカラー」(メインカラー12色)など。

「ソリッドカラー」は、水性塗料の定着性を向上させ、ストリート状のニスで、ワックスではないが、ワックス感覚で手軽に使用することができる新発想の塗料だ。

としては今までなかつたペー
ト女子」のイベントやワークワー
クショップなどで、多くの来
場者の関心を引き付けるこ
とに成功した。

こうした活動を継続して
きた結果、女性層を中心には
認知度が急速に向上してお
り、配荷も拡大しつつある。

また「ウッドアトリエ」専用のランディングページを設置し、スマートフォンなどでも簡単に閲覧する。

開発にあたっては、同社が推進するペイント同好会のランディングページを設置し、スマートフォンなどでも簡単に閲覧する。

「ウッドアトリエ」専用のランディングページ

は、同社が木部用塗料メーカーとして積み上げてきた実績と技術力を背景として、自信を持つ提案をする、まさに新コンセプトを前面に打ち出した商品。今後の展開にも期待したい。

M D - F O C U S

和信ペイント

新コンセプトの木部用塗料 「ウッドアトリエ」の プロモーションを強化

2018年に和信ペイントが発売した「ウッドアトリエ」が好調に販売実績を伸ばしている。その最大の特徴は、これまでのニスやステインにはなかつた色調を含む充実のカラーバリエーションと、女性目線を意識したスタイリッシュで使いやすい商品コンセプトだ。



ワークショップや ウェブサイトの 活用で 情報訴求を展開

同社では商品発売後からH.C.店頭でのワークショップなどのイベント開催を提案し、徐々に広がりを見せていているほか、展示会などでも積極的に訴求。「JAPAN DIY HOME CENTER SHOW 2018」でも「ペイント女子」のイベントやワークワークショップなどで、多くの来場者の関心を引き付けることに成功した。

こうした活動を継続してきた結果、女性層を中心には認知度が急速に向上しており、配荷も拡大しつつある。一方、一貫して店頭提案を強化しており、すでに一部店舗では、エンドを活用して商品ラインアップを展開するなど、ブランドに特化した売場が実現している。商品の特徴をボードなどで訴求するほか、実際に塗つて仕上げたさまざまなオブジェをディスプレイするなど、夢が広がる仕上がりイメージをアピールする。



「ウッドアトリエ」は、同社が木部用塗料メーカーとして積み上げてきた実績と技術力を背景として、自信を持つ提案をする、まさに新コンセプトを前面に打ち出した商品。今後の展開にも期待したい。